

農家の「ヨメ」の 飽くなき挑戦

ERI

O2Farm 生涯実習生

NPO法人田舎のヒロインズ 理事長

東京育ちのバイリンガル女子が 九州男児と出会って決めた 「農業」という選択肢



- ドイツ生まれ東京育ち
- ミュンヘン工科大学卒
- 大学在学中に熊本出身の「彼」を射止めた
- 2003年より夫の郷里で就農
- 4児の母

ミュンヘン工科大学に留学

- **'99-'02** (3年半)
- 国土保全学科で「ランドスケーププランニング」を専攻、修士課程1期生
- 最後の1年は夫の野球のために残留
- 奨学金が切れたので、通訳や翻訳のバイト
- その時に見たドイツの農村や農業が「原点」
- ランドスケープを守るための手段として農業

日本昔話のような世界

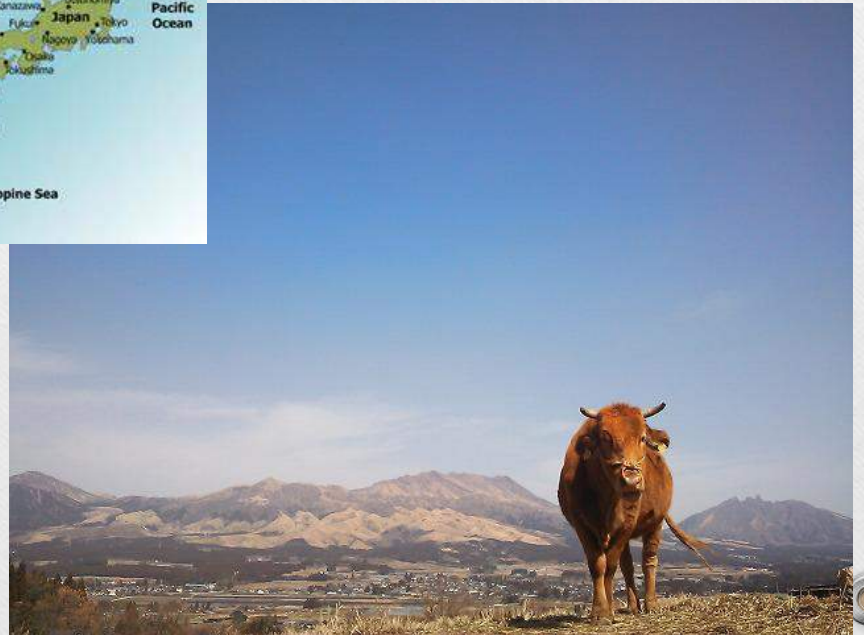


生まれ故郷の
「美しい農村風景」を
—
子供や孫たちに
引き継ぎたい！

By 耕太

O2Farm

熊本県南阿蘇村
水稲 5ha
(無農薬・減農薬)
あか牛繁殖20頭





家族經營農家



2019～2029年は国連「家族農業の10年」

国内の農業経営対の状況及び家族農業経営の活性化

農業経営体数は約138万経営体（2015年）、このうち家族経営体は134万経営体で、農業経営体全体の98%を占めており、これはEU、米国など他の先進国も同様の状況となっております。

【参考】農業経営体に占める家族経営体の割合

日本	EU (Family Farms)	米国 (Family Farms)
97.6% (2015年) (1,344/1,377千戸)	96.2% (2013年) (10,426/10,841千戸)	98.7% (2015年)

(出典)

日本：農林水産省「2015年農林業センサス」

EU：Agriculture statistics-family farming in the EU (EUROSTAT、2016年10月公表)

米国：Three Decades of Consolidation in U.S. Agriculture (USDA、2018年3月公表)

大規模化・集約化だけでは今後爆発的に増える世界人口を養うことができない、自給的な農業も含め、小中規模の家族農業が必須という認識

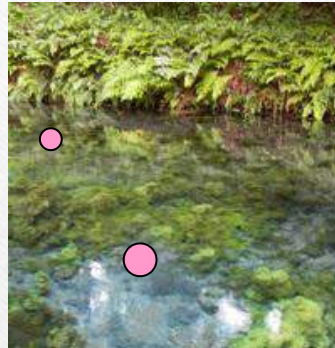
環境保全・資源循環型農業



- ・除草剤の代わりにアイガモ・コイ
- ・自家製堆肥、油粕、鶏糞
- ・収穫後・保管中も薬を使わない

農業っていい！ 百姓19年目にして思うこと

職場が近い！



水や空気やご飯がおいしい



豊かな暮らし



ストレスが少ない



暗くなったら終



変化に富んでいる

就農から19年。

**「農家のヨメ」の
挑戦歴をまとめてみた**

- 2003年 就農。無農薬・減農薬米の栽培・産直、田舎暮らしに挑戦
- 2004年 NPOや大人のサークルを設立し、再エネ普及やイベントへの挑戦
- 2005年 都市農村交流を本格化、NPO法人九州バイオマスフォーラムの理事長に就任
- 2006年 双子の自然分娩と双子育児に挑戦
- 2007年 国際交流事業への挑戦、ストローベイルハウスの建設
- 2008年 逆子の自然分娩、生態系調査に着手、草発電実験事業スタート
- 2009年 家族経営協定書締結、農産物の加工品販売に挑戦（米粉スイーツ）
- 2010年 トレーラーハウスを購入し長期受入の挑戦、あか牛経産牛の産直に挑戦
- 2011年 原発事故後に親子・子供の受入れ（延べ100人以上）、子供合宿に挑戦
- 2012年 DIYゲストハウスづくりに挑戦、都内での写真展開催に挑戦
- 2013年 世界農業遺産の認定に挑戦、ラジオ番組に挑戦
- 2014年 組織運営に挑戦（NPO法人田舎のヒロインズ・里山エナジー株式会社）
- 2015年 研修生の育成および自宅出産・女兒の育児に挑戦
- 2016年 熊本地震発災、サバイバル生活に挑戦
- 2017年 家族留学（3ヶ月）に挑戦、レストランバスやグランピングに挑戦
- 2018年 不登校児支援に挑戦（三男が不登校になったため）
- 2019年 「RE100農家モデルの構築」に挑戦
- 2020年 コロナ禍で大学生を受入れ「休学しない農村留学」に挑戦

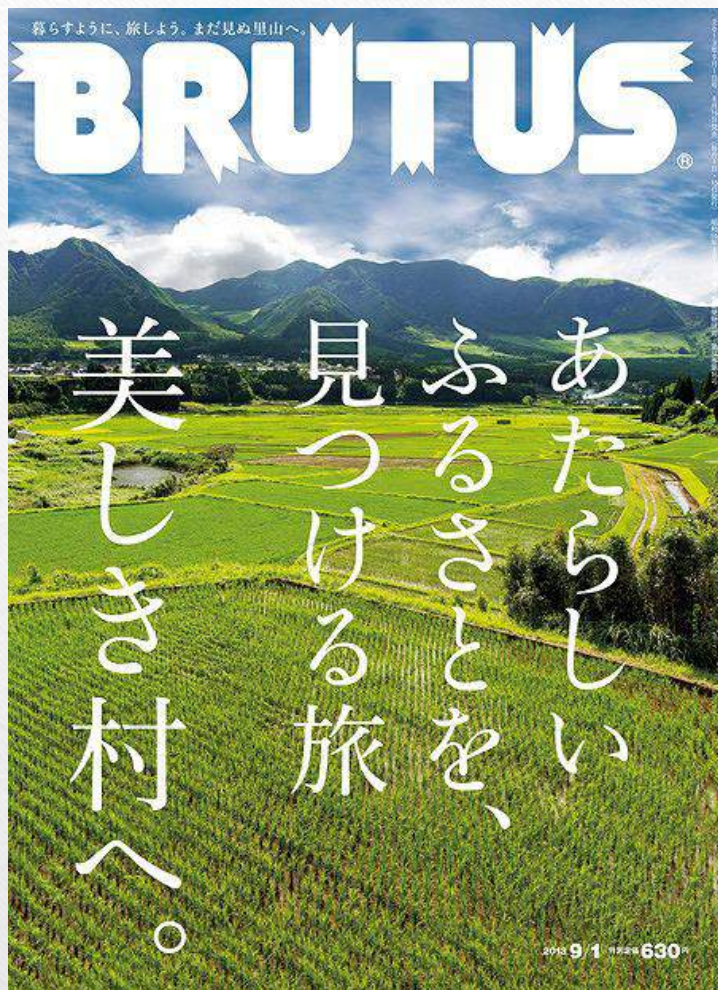
**農業・農村の
価値と魅力アップに向けた
農家の嫁の飽くなき挑戦**

～日常編～

家族との時間を大切にする日々



田舎暮らしの楽しさや魅力を発信！



ラジニク



農業体験やホームステイの受け入れ



**農業・農村の
価値と魅力アップに向けた
農家の嫁の飽くなき挑戦**

～スペシャル編～

世界農業遺産（GIAHS）の認定活動

GIAHS・・・生物多様性や文化に富んだ農村を社会全体で
守るべき宝だ、という世界的な認識



豊かな景観や生態系は
小・中規模の家族農家が
伝統的な農法で維持してきた

世界が認めた
阿蘇の価値を維持し、
さらに価値を上げて
次世代に引き渡したい

どなたでも
参加できます。
みんな集まれ!

田舎のヒロインわくわくネットワーク
全国集会 2013

私たちの
未来は
私たちの手で

NPO 法人田舎のヒロイン
わくわくネットワークって?

農業女性達を中心として
1994年に結成された。
ゆるやかなネットワークです。

2013.3.2-3日
早稲田大学小野記念講堂

日時 2013年3月2日(土) 12:00~21:00
3日(日) 9:00~13:00

会場 早稲田大学小野記念講堂

矛盾を解決するために学び、社会に働きかける。そんな女性達の出会いの場として、私たちは、1994年3月に早稲田大学の教室で「第1回田舎のヒロインわくわくネットワーク全国集会(全国交流会)」を開催しました。ヒロインは今までのいろいろな農や食の問題(ダイオキシン・BSE・鳥インフルエンザ・食品偽造 etc)を取り上げ学んできました。本当の豊かさとは何か、食の大切さ、生命を守る農業、そんな農業の大切な事を伝えてきました。今回は、今までのヒロインの活動を通して、私たち一人一人はどのような意識をもって行動してきたのか、このようなヒロインの活動は若い仲間達にどのように伝えられたのか、語り合ひましょう。そして、ヒロインの仲間

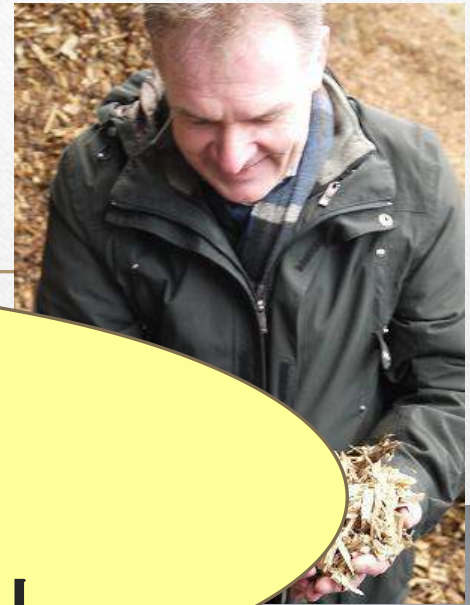


2014年に役員を
40代以下の
現役女性農家に一新



メディア10社以上が取材に!

◎ 学生時代にドイツで見た「農家」の未来像 ◎



経営安定化
＋
地球温暖化防止

農産物＋

農産物は価格変動
エネルギーは固定価格
＝農家の経営安定

目指すは食べ物と
エネルギーの地産地消





食べ物



エネルギー

農家はその両方を生み出し得る存在！

まずは知る事、学ぶことから



福島でのDIY太陽光
発電ワークショップ &
トークイベント、新潟
での視察

新潟(小型バイオガス
プラントで発電+排熱で
トロピカルフルーツの栽
培)の視察



- 熊本での勉強会や協議会

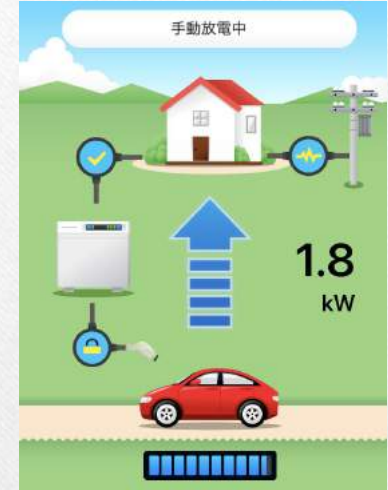
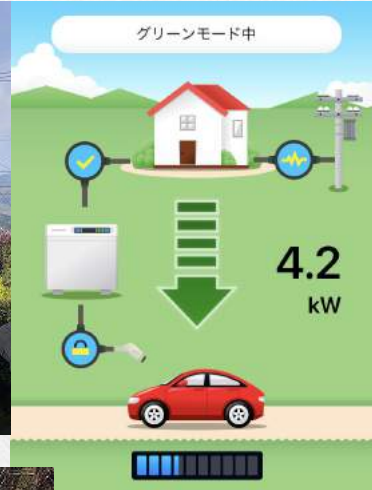
- 時代の先取り？オンライン講座「エネルギー兼業農家のススメ」

- 福島第一原発事故後は関心がある人も増えたが、そのほとんどは「移住者」

- 自分ごととして捉えようとしても、初期費用や原料の収集コストが壁となり導入に至らず



だったら隗より始めよ！ RE100農家を目指す



災害時やコロナ禍に見せた農家の底力



「自助」の経験を生かした「共助」へ
防災・減災を目指した
「食べ物とエネルギーの地産地消」







GIHSHORE

CAUTION
NO SMOKING
NO ALCOHOL
NO DRUGS







いつ停電がきても大丈夫！





水のいらない
バイオマストイレ

おが粉はやがて肥料に

木のぬくもりと 見直したい「地域資源」



技や知恵の伝承WS 地産地消メニューの開発 こども弁当(コロナ期間)

↓
「誰かがいる場所」
「いつ行っても良い場所」
「いざという時は逃げ込める場所」



マイナスからゼロへ、ゼロからプラスへ
創造的復興へのチャレンジ
基幹産業である農業と観光の同時復興





♡恋するレストランバスツアー@南阿蘇♡



農村の魅カアピールで
出逢いにつなげる
婚活イベント開催



農業×観光その② 畑グランピング



防災対策・
避難訓練
にもなる！



災害じゃなくても役に立った コロナ禍で挑戦した「休学しない農村留学」



オンラインで受講しながら農業の手伝いも



アフターコロナも
学生の生きた学びを
実現できるのでは？

**農業・農村の
価値と魅力アップに向けた
農家の嫁の飽くなき挑戦**

～みらい編～

再エネを利用した堆肥作り CO2削減プラン1【土づくりステージ】

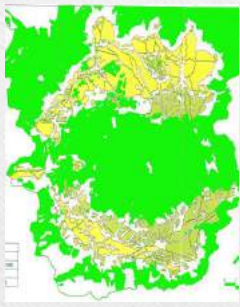
①送風による省力型エコロジカル堆肥づくりの実践

- 太陽光や風、水を資源とした再生可能なエネルギーで強制送風(立地条件による)
- データ分析による微生物、成分予測モデルの構築

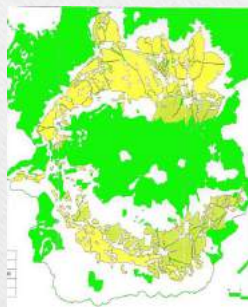


RE100堆肥づくりモデル

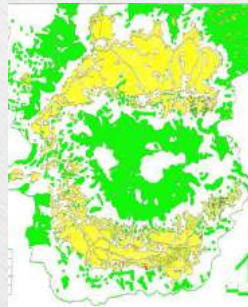
②水稲(田んぼ)と畜産(草地・畑)の複合経営 ⇒世界農業遺産・阿蘇の景観を維持・継承



明治～大正期



昭和20年代



現代



草原の減少を止め、再生させるためにも畜産の振興は欠かせない。
放牧を中心に、牛舎の排泄物は完熟堆肥として田んぼに還元

RE100に向けた更なるCO2削減プラン2【栽培ステージ】

- ①農機具の燃料を軽油からBDF（植物性）に（トラクターとコンバインは転換済み）
- ②栽培用モビリティの燃料をガソリンから電気に（乗用車は転換済み）
- ③小型農機具を充電式に（一部転換済み）

課題

- ✓ 農機具のパワー不足や故障に繋がらないかという農家の不安
- ✓ 走行距離や充電時間に対する一般的な不安
- ✓ 導入コスト（燃料、EV共に）



使用済み
天ぷら油
からできた
BDFを使用

卒FITした太陽光発電で電気軽トラックやバッテリーを充電



田植え機でBDFを使えばRE100に。

これまでの取組

- トラクターとコンバインを**BDF**に
- 草切機、チェーンソー、剪定機を充電式に
- ソーラーシェアリング+屋根上の太陽光発電

今後の取組

- 田植え機とユンボを**BDF**に
- 軽トラックと商用バン、田んぼの見回り用バイクを電気に（太陽光発電等で充電）

RE100に向けた更なるCO2削減プラン3【加工・販売ステージ】

再エネで精米～袋詰め、保管(保冷)、加工(乾燥は導入済み) 運搬をガソリン車からEVに

太陽光発電により阿蘇の在来種タカナを
乾燥、粉末にしてスイーツに加工
地産地消カフェや市内の店舗で提供



(これまでの
取組の一例)



小水力発電や小型風力発電の電気を
自家消費(非FIT)で農産物管理・
加工(写真はイメージ)



課題

- ✓ 導入コスト(発電設備、蓄電池)
- ✓ 前例がない(全て試行錯誤)
- ✓ 農産物、加工品の販路

これまでの取組

- 乗用車を**EV**にし、バッテリーとしても使用(**VTOH**)
- 農産物乾燥の試作(太陽光発電で)
- 地産地消カフェ

今後の取組

- 小型風力発電で加工品
- 小水力発電で保冷・保温
- 軽トラックと商用バン、田んぼの見回り用バイクを電気に(太陽光発電等で充電)

バイオ炭によるCO2固定【新しい価値の創造】

森林、竹林整備 炭化→畑に散布本事業による新規取組み)

杉林、クヌギ林、竹林の整備
自伐型林業をするための林道整備
(これまでの取組の一例)



バイオ炭づくり、畑(牧草)に散布
(散布の写真は現在堆肥を散布して
いるもの、炭化機は使われなくなった
ものを引き取る予定)



課題

- ✓ 導入コスト(重機、炭化機)
- ✓ 前例が少ない(バイオ炭散布、CO2固定クレジット化)
- ✓ バイオ炭、シイタケ、タケノコ等の販路

これまでの取組

- 針葉樹(樹齢50年前後の間伐)、広葉樹(くぬぎ林間伐)、竹林整備
- 竹炭焼きの試作(DIYドラム缶窯で)
- 薪ストーブの導入
- 自伐型林業の研修を招致

今後の取組

- 間伐材や竹を炭化
- バイオ炭として畑に散布
- **CO2**固定量を算出し、クレジット化して販売

1 RE100に向けたエネルギーシフト

- ✓ トラクターとコンバインの燃料を軽油からバイオディーゼル100%に転換('19~)
- ✓ 自家用車をガソリン車からEVに変え、太陽光発電で充電、蓄電池としても活用('19~)
- ✓ ミニソーラーシェアリングの電気ですべての冷凍や乾燥('20~)
- ✓ RE100農家モデルのシナリオづくり、仲間づくり('19~)

<今後の展望>

モデルの精度を上げていくためには、近隣住民や企業との連携による実証調査や、対象地域を広げて同様のシナリオづくりを行い、モデルを修正していく必要がある。気象データ等さらなる環境情報も加えた関係性の解析についても検討したい。

2 価値創出

- ✓ 竹林整備および自伐型による森林整備→カーボンオフクレジット。
- ✓ RE100加工品(原木シイタケやタケノコの乾燥)

消費エネルギー以上に生み出している再エネとCO2固定をクレジット化。クレジットの可視化については、さらに多様な方法を考えたい(生物多様性クレジット?)。データ蓄積機能、拡張機能を含む本開発のプランニングを検討する。

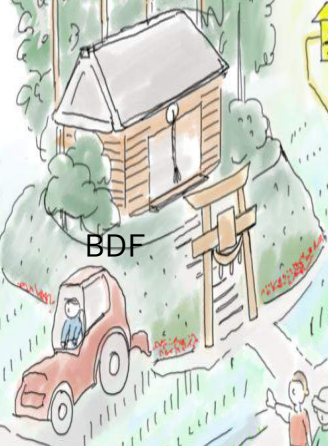
風力発電



小水力発電



BDF



太陽光発電



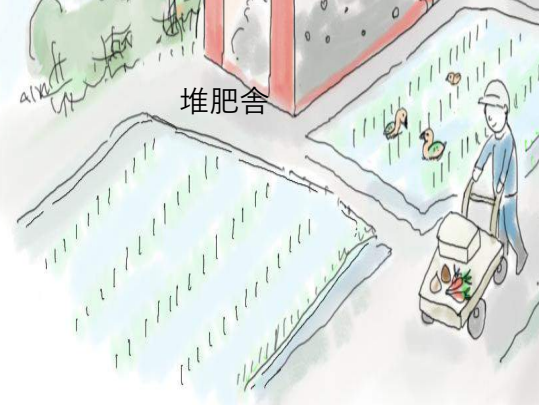
薪



ボイラー



堆肥舎



バイオトイレ

精米・加工施設



EV

かまど



SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

1 貧困をなくそう



2 飢餓をゼロに



3 すべての人に健康と福祉を



4 質の高い教育をみんなに



5 ジェンダー平等を実現しよう



6 安全な水とトイレを世界中に



7 エネルギーをみんなにそしてクリーンに



8 働きがいも経済成長も



9 産業と技術革新の基盤をつくろう



10 人や国の不平等をなくそう



11 住み続けられるまちづくりを



12 つくる責任つかう責任



13 気候変動に具体的な対策を



14 海の豊かさを守ろう



15 陸の豊かさも守ろう



16 平和と公正をすべての人に



17 パートナーシップで目標を達成しよう





家族農業なくして持続可能な社会なし

嫁として母として大人として

やれる事をやれる範囲でやっていきます

www.o2farm.net facebook.com/otsu.er

**農業・農村の
価値と魅力アップに向けた
農家の嫁の飽くなき挑戦**

～番外編～

農村の美しい風景を守るための活動 ～田んぼファッションショー～



熊本ゼロックス・肥後銀行・テレビ熊本・崇城大学も協賛

「風景を着る」

田舎のヒロインズ

tamboファッションショー



この風景を守っているのは私たち!

田畑や水路やお宮さん。
風景はタカラ。風景はチカラ。
だから身にまとう。
そして見てもらう。
世界に価値を認められた美しい阿蘇の農村風景を。
風景と女性がより美しく見えるよう。
そんなファッションショーを開催したいと思えます。

【ゲスト出演】



プロモデル:まゆみさん・秋山あかりさん・丹羽なほ子さん

司会:星合いずみさん
TKUファッション

【日時】——2015年10月10日 [土] 10:00-11:00

【会場】——南阿蘇村両併地区中郷集落にある

天神さん前の田んぼ (参考住所: 南阿蘇村両併597)

※【雨天時会場】——白水小学校 (南阿蘇村吉田1499)

【共催】 NPO法人田舎のヒロインズ・JA阿蘇女性部フレッシュミズ

【協力】 阿蘇中央高等学校・eypher (RightRightRight)・京都造形芸術大学・

KONOLINE・評城大学・テレビ熊本・東海大学生有志・長野良市・博報堂

富士ゼロックス・古荘本店・マークス・Lee Japan・両併地区地元住民の方々

【後援】 JA熊本中央会・熊本日日新聞社・みなみあそ村観光協会

【協賛】 崇城大学・肥後銀行・富士ゼロックス熊本

【助成】 「平成27年度くまもと里モンプロジェクト推進事業」補助事業

「独立行政法人環境再生保全機構地球環境基金」助成事業

【事務局】 NPO法人田舎のヒロインズ 担当: 大津・松本

〒869-1501 熊本県阿蘇郡南阿蘇村両併1282

Mail info@inakano-heroine.jp Tel 090-7926-6895











次世代育成活動 子どもたちに「生きる力」を！

～東日本大震災をきっかけにはじめた子供合宿～





田舎好きの子、集まれ〜!



熊本地震後にバージョンアップ

「生きる力」と「考える力」
1日45分 「子供の哲学」

徹底的に考える
みんなで一緒に考える



農業×教育

農業×観光

農業×環境

できることはまだまだ沢山ある！
できるかできないか、ではない。
やるか、やらないか。



自伐林業MS



🌲 森の幼稚園・子育て支援ネットワークづくり 🌲



草の根国際交流 ～言葉の壁を越えた友情～



農業は産業だけど産業だけじゃない。

文化でもある。

国民を守る「安全保障」でもある。

健康な次世代を育む場でもある。

何らかの理由で輸入できなくなったら...

国民の食べる物が無い！

輸出国で価格高騰

国民の住むところが無い！

輸出国で港湾スト

国内で供給不足
価格高騰

有害物質の食品への混入

食品の流通の規制

国民を守っている農村。

その農村を守っているのは私たち家族農家！

